

2018年10月24日

# 京都大学・ヤマハの包括的研究連携協定

ご説明用資料（簡易版）

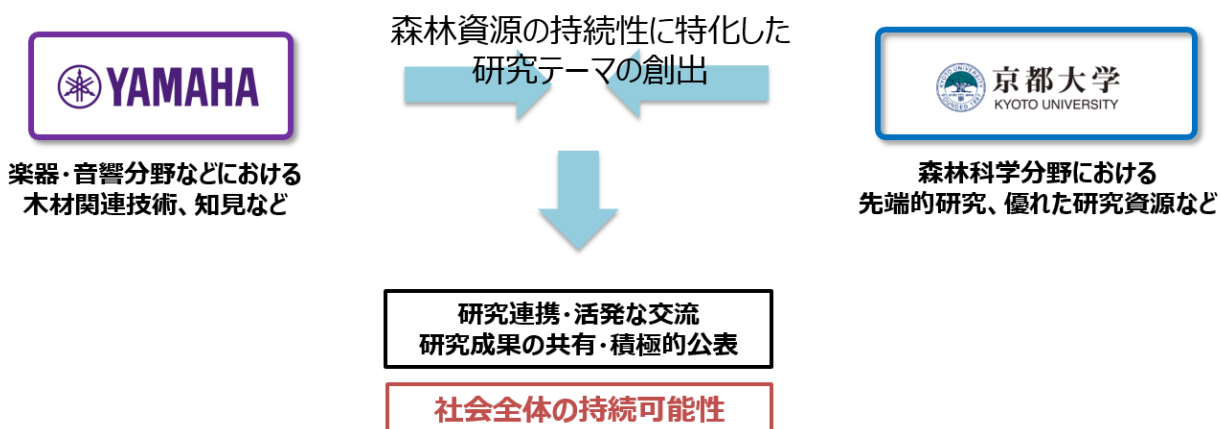
ヤマハ株式会社  
楽器・音響生産本部 仲井

TEL 053-460-3475  
FAX 053-460-2448

kazushi.nakai@music.yamaha.com  
<https://www.yamaha.com>

## 協定の概要

ヤマハと京都大学が締結した包括的研究連携協定は、3年間の連携期間において、ヤマハが従来培ってきた楽器製造の知見や様々な技術開発の知見と、京都大学が数々の研究で蓄積してきた森林・木材分野の基礎的知見等をバックグラウンドとして、森林資源と社会の持続可能性という共通の課題に対して、産学連携の下で包括的にアプローチしていくことを目的とする。



### 連携協定の締結団体

本連携協定は、下記3者間で締結する。

- ヤマハ株式会社
- 国立大学法人京都大学 大学院農学研究科
- 国立大学法人京都大学 生存圏研究所

### 連携協定の内容

本連携協定において、ヤマハ株式会社、および京都大学は森林資源の持続可能性を共通テーマとした基礎的研究と研究成果の社会への還元を目指し、本協定において定める以下の内容について相互に協力し合う。

- (1) 連携推進協議会の設置、運営
- (2) 研究テーマの創出と研究の実施
- (3) 研究成果の応用、積極的発表の推進
- (4) 相互の積極的人材交流の推進
- (5) 相互の研究資源の積極的活用

## 連携推進協議会

本連携協定において、活発な研究活動と効率的な研究遂行を推進、実行することを目的として、ヤマハと京都大学で構成される「連携推進協議会」を設置し、共同で運営していく。

## 研究内容

---

本連携下での研究は、持続可能な森林資源の育成・利用をテーマとした研究に取り組む。アフリカ、東南アジア、中南米などの熱帯地域に広く分布しており楽器材料となる希少木材や、日本国内の森林資源などを対象として、森林における有用良質材の育成や、地域社会と連携した循環型の森林保全エコシステム構築に係る基礎的研究を行う。また、木材物性や高機能木質材料を目指した材料複合化など、森林管理だけでなく先端的木材利用の観点からもアプローチする。



以上